

Rimse東京懇談会について

1. 規約

①趣旨

当財団が目指す「科学技術創造立国の基盤となる理数科教育の更なる振興」と、教育基本法が示す教育の目的・目標の達成を目指すにあたり、学校教育の専門家が一同に会し、理数科目を中心に学校教育の観点から教育全般をめぐる諸課題について研究・協議・発信を行う。当会を、外部有識者を委員とするシンクタンク「東京懇談会」とする。

②所掌事項

- ・文部科学省，中央教育審議会の動向調査と，その分析及び具現化に向けての研究
- ・教育委員会，学校が直面している課題についての調査・分析及び解決に向けての研究
- ・東京都における教育施策の分析及び具現化に向けての研究
- ・主な課題案

教育全般：中教審の動向，教育委員会制度の在り方等

人材育成：教員養成・採用・研修の在り方等

学力状況：教員の授業実践状況調査，「算数・数学の自由研究作品」の分析等

教科書関連：教科書の検定・採択制度における課題，教科書に期待する内容等

③運営

1) 懇談会

- ・懇談会は，原則年3回実施し，課題に応じて，講師講演（文部科学省，都教育庁幹部職員，区市教育長，教職大学院教授など）も随時行い，調査研究を深めていく。
- ・懇談会での議論を踏まえ，その課題や検討結果を広く発信していく。
- ・懇談会の下部組織として調査研究部会を設置し，科学的根拠（エビデンス）に基づいた調査研究を行い，そのデータの公開と分析結果の提言を行う。

大江 近 座長：元早稲田大学教職大学院客員教授

清水 潔 顧問：元文部科学省事務次官

生形 章 委員：秀明大学教授

押尾 賢一 委員：東京女子体育大学教授

長谷川 純一 委員：東京理科大学講師

細谷 美明 委員：早稲田大学教職大学院客員教授

加藤 良則 委員：東洋学園大学講師

藤井 千恵子 委員：国士舘大学教授



2) 調査研究部会

- ・主に学校経営や学級経営，教員の指導状況の実態調査（アンケート）を行い，その調査結果及び分析を懇談会に具申する。
- ・分析結果については，Rimse広報誌，研究紀要やHPを通じて発信する。
- ・特に，実態調査に協力を頂いた区市町村教育委員会，校長会，研究部会等に対しては，該当調査の結果及び分析を適宜報告し，課題解決，改善の一助となるよう貢献する。

小口 祐一 部長：茨城大学教授（算数・数学教育，統計）

小西 康文 委員：茨城大学准教授（理科教育，統計）

飯村 文香 委員：芝浦工業大学特任助教（英語教育）

- ・なお，実態調査（アンケート）の監修としてお二人の先生のご協力を頂いた。

尾崎 春樹 先生：目白学園理事長，元国立教育政策研究所所長

根岸 均 先生：秋田大学客員教授，元秋田県教育長